

ストップ！インボイス ウィンターアクション！ 尾北民商からも代表7人が参加しました！

2月11日、名古屋市中区栄の光の広場で、インボイス制度の即時廃止を求める集会が開かれました。行動の目的をインボイス制度の廃止のみに限定した集会で、尾北民主商工会からも岡田会長をはじめ7人が参加しました。

午後1時30分ごろから、音楽やコンテンポラリーダンスのライブが行われ、2時から集会が開かれました。団体の役員や事業者、主婦や税理士など、様々な立場の人からインボイス制度の廃止を求める訴えがされました。

午後3時から生演奏を伴うサウンドデモ行進を行いました。参加者多数のため集団を3つに分け、リズムカルなコールで沿道にインボイス制度の廃止を呼びかけて回り、北は地下鉄栄駅前から南は若宮大通を歩いて光の広場に戻るコースを歩きました。

参加者からは「たくさん集まっていた。みんなインボイスは嫌なんだ」「知っている税理士さんがイ



ンボイス反対の話をしてくれました。忍者装束だったのでびっくりした」などの感想がありました。

消費税を納めなければ業者間取引から締め出されてしまうインボイス制度は、小規模な業者を続けていけなくしてしまいます。

尾北民商は各界・各団体と連携して、消費税インボイス制度を廃止に追い込む運動を続けます。

尾北民商
ニュース

2024年
2月19日号
TEL 0587-54-0524
FAX 0587-54-1390

今年から税務署から申告書用紙を送ってこない！？

今年の確定申告書が届かないという相談が多発しています。

税務署は今年から、前年に会計ソフトで申告書を作成して提出した納税者や、国税庁HPで申告書を作成・プリンタ印刷で提出した納税者、市役所町役場などで配布している白紙の申告書用紙に記入して申告した納税者には、申告書用紙を郵送していません。該当する人は、長3サイズの封筒やハガキで、確定申告のお知らせが来るだけになっています。



税務署は明らかに申告書用紙の印刷数・郵送数を減らそうとしています。いつも税務署から送られてくる用紙で申告している人が、去年は書き損じがひどかったのが民商でもらった用紙に書き直して申告したという場合も、以降は郵送しない人として扱わ

れるようです。納税者の申告の利便性、ひいては確定申告の必要な人の申告率まで下がりかねない問題のある改悪で、以前の運用に戻すべきです。

市役所町役場でも昨年からの申告書用紙を用意する数が減っています。民商会員からの相談だけでも申告書用紙難民の様相を呈しています。相談先を持たない業者では、より深刻な悩みになっている可能性があります。

民商の確定申告計算会の会場には、白紙の申告書用紙を用意しています。記入するための確定申告書用紙がなくて困っている方は、民商にご相談ください。困っている会外の業者がいたらご紹介ください。

昨年中の予定納税・中間納付の確認について

2023年中に予定納税・中間納付を行った人は、申告のお知らせ内にその額が記載されています。

送られてきた申告書の印字を見て先に払った額を確認していた人も、確定申告計算会に来る時は申告のお知らせを持って来てください。

3月13日まで受付！ 民商共済会の大腸がん検診！